



画家はどのように絵を学んできたか —近世から近代へ—



講師：田島 達也氏
(京都市立芸術大学 教授)

令和 2 年 3 月 22 日 (日)

14 時～15 時 30 分
(開場 13 時 30 分より)

明治 13 年 (1880) 京都府画学校の開校以降、絵画も学校を通じて学ぶことが一般化しました。では学校のなかった時代にはどのように絵を学んできたのでしょうか。画論や資料を通じて見る江戸時代の狩野派と円山応挙の絵画学習の違い、また幸野楳嶺や岸竹堂など近世から近代にまたがる画家の学習や教育、都路華香や上村松園など明治の画塾で学んだ画家たちの言葉等、さまざまな絵画学習の理念や方法を見ていながら、画学校のあり方を改めて考えます。

会場：京都市学校歴史博物館
3F 講義室
定員：60 名 (先着順)
対象：中学生以上
聴講料：無料
(別途入館料 ¥300 が必要)

※手話通訳あり (3/12 までに要予約)

◎申込方法◎

- ① 講演会名 ②氏名 ③ふりがな
④連絡先電話番号 ⑤参加人数

電話：075-344-1305 (9 時～17 時・水曜休館)

FAX：075-344-1327 (FAX 番号も明記ください)

を明記のうえ、右記のいずれかにてお申込みください。
定員になり次第、申込を終了とさせていただきます。

Eメール：rekihaku-jigyoku@edu.city.kyoto.jp

※電話等のおかけ間違いのないようご注意ください



京都市学校歴史博物館
Kyoto Municipal Museum of School History

京都市下京区御幸町通仏光寺下る橋町 437

※駐車場はございません。
※正面入口、御幸町通からお入りください。

【警報発令時の休講について】 以下の警報発令の場合、休講とします。休講の連絡はいたしませんので、各自で気象情報に注意しご判断ください。
(警報発令時でも、展示室は開館時間中ご覧いただけます)

- ・「暴風警報」→講座開始時刻の 2 時間前の時点で、暴風警報が京都市に発令されている場合
- ・「特別警報」→発令時刻警報の種類に関わらず、即時に休講